

都市再生整備計画

あわづおんせんちく
栗津温泉地区(Ⅱ期)き

いしかわ 石川県 こまつし 小松市

令和2年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	石川県	市町村名	こまつ市 小松市	地区名	あわづおんせんちく 粟津温泉地区	面積	32 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度				

目標
【大目標】 開湯1300年の歴史を誇る温泉情緒「山かげの御殿湯」の創出
目標1：温泉と歴史・寺社をつなぐにぎわいの創出。
目標2：交流イベントをサポートする広場の活用。
目標3：温泉街の景観の演出と足湯と連携させた回遊拠点づくり。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 粟津温泉は、周辺の山代、片山津、山中の各温泉地とともに加賀温泉郷を形成し、平成30年(2018年)に開湯1300年を迎える北陸最古の歴史と良好な泉質を誇る小松市唯一の温泉観光地として発展してきた。ほとんどの旅館が自家堀源泉を有し、里山の山あい温泉旅館が建ち並ぶ温泉街であり、里山と温泉旅館が一体となった落ち着いた趣きのある風景が魅力を感じさせている。
 平成18年度～平成22年度の都市再生整備事業(粟津温泉地区)では、総湯・足湯整備や街路整備などに取り組み、大型旅館の廃業が相次ぐ中、魅力ある粟津温泉街の整備を目的として事業を推進した。その結果、温泉観光客数286千人/年(H22)となり観光客の減少率が低下したほか、まち歩き者数1,647人/10h(H22)となり1,300人/10h(H17)に比べ増加しているなど、観光客の確保や温泉街の回遊性向上に寄与する効果が表れている。
 前回の都市再生整備事業を踏まえ、『開湯1300年』を迎えるにあたり、粟津温泉の現状を見てみると、H27.3の北陸新幹線開業効果によりH27は前年度に比べ、温泉観光客数は、298千人/年(H27)とやや増加しているものの、観光客数は300千人/年を割り込んでおり、前回整備した総湯の入込客数も51,794人/年(H22)から50,346人/年(H27)と減少傾向にある。現状を粟津温泉のさらなる街の魅力と回遊性の向上のため、当エリアの交流人口の拡大を目指し、これまでの取り組みや地域資源の有効活用、地域住民が主体となった持続可能なまちづくりを推進し、温泉街としての賑わい再生を図りたい。

課題
 粟津の顔づくりと賑わいの再生
 ○北陸最古の歴史を誇る粟津温泉の集客力を高めるため、地域資源を有効に活用しつつ、粟津温泉の顔となる魅力的な拠点を創出していく必要がある。
 ○地域のもてなしの心の醸成や、観光客等の受け入れ体制を充実させ、賑わいの再生につなげていく必要がある。
 魅力ある温泉街としての景観づくり
 ○来訪する観光客の記憶に粟津温泉を強く印象づけるとともに、温泉街の情緒を引き立ててそぞろ歩きを楽しめるように、まちなかの修景が必要である。
 ○緑豊かな里山に囲まれ、山かげの御殿湯にふさわしい風情ある温泉街としての一体感と地域住民が誇りを持てるまちなみを形成していく必要がある。
 安全、安心、快適な温泉街の環境づくり
 ○観光客が安全、快適に滞在でき、地域住民も安心して暮らせるよう、人にやさしい温泉街としての環境改善が必要である。
 ○外からの来訪者を快適、スムーズに温泉街へ誘導する環境を整える必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 「みんなの笑顔いっぱい」のまち 「新たなライフスタイルへの変革」と「まちのブランド力向上」をめざして
 小松市NEXT10年ビジョン(H27.11)では、粟津温泉について、「開湯1300年、情緒あふれる湯のさと粟津温泉」として温泉再生を目指している。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
粟津温泉観光客数	人/年	粟津温泉の年間観光入り込み客数	温泉と歴史・寺社をつなぐにぎわいの創出(目標1)により、粟津温泉の魅力高め、観光入込客数の減少傾向を食い止める。	298,166人	H27	301,000人	H31
総湯外来入込客数	人/年	粟津温泉総湯に定期券以外を利用して入浴する年間客数	温泉街の景観の演出と足湯と連携させた回遊拠点づくり(目標3)により、粟津温泉総湯の外来入浴客数の減少傾向を食い止める。	50,346人	H27	52,600人	H31
まち歩き者数	人/10h	粟津温泉街3地点における休日10時間(9:00～19:00)あたりの歩行者及び自転車の数	交流イベントをサポートする広場の活用(目標2)と温泉街の景観の演出と足湯と連携させた回遊拠点づくり(目標3)により、温泉客のそぞろ歩きを誘発させ、まち歩きをする歩行者及び自転車を増加させる。	913人	H28	970人	H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1：温泉と歴史・寺社をつなぐにぎわいの創出 ・粟津温泉街とその周辺の白山神社・大王寺や祈りの小径を施設として、温泉施設と歴史ある寺社をつなぐ情報案内板の整備を行う。</p>	情報板整備(基幹事業:地域生活基盤施設)
<p>整備方針2：交流イベントをサポートする広場の活用 ・旅館跡地を利用して、温泉客や住民の交流イベントのサポートし、賑わい拠点となる広場整備を行う。</p>	交流広場整備(基幹事業:地域生活基盤施設)
<p>整備方針3：温泉街の景観の演出と足湯と連携させた回遊拠点づくり ・温泉街内の観光施設をつなぐまちなかの通りや空間を、浴衣の似合う温泉情緒が感じられるような修景整備と回遊拠点として、サイクルステーションの整備を行う。</p>	駐輪場整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 街なか魅力アップ支援事業(提案事業:地域創造支援事業) 観光周遊バス運行事業(効果促進事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上位計画:小松市都市計画マスタープラン(平成21年12月施行) <ul style="list-style-type: none"> 【基本理念】水・暮らし・歌舞伎 ～夢と笑顔があふれる都市づくり～ <ul style="list-style-type: none"> ・粟津温泉や安宅地区においては、北陸最古の温泉や歌舞伎「勸進帳」の舞台として有名な「安宅の関」など歴史・文化特性を継承しつつ、温泉街や観光地としての顔づくりや街並み修景、安心して歩ける環境づくり等を推進し、魅力向上を図る。 ● 廃業旅館跡地の活用について <ul style="list-style-type: none"> ・粟津温泉の中心にある廃業旅館について、旅館協同組合が平成27年11月に土地・建物を取得した。平成28年4月には、地元温泉協同組合や町内会が跡地活用会議を設立し、地元が主体的に跡地の活用と運営を行うこととしている。 	

都市再生整備計画の区域

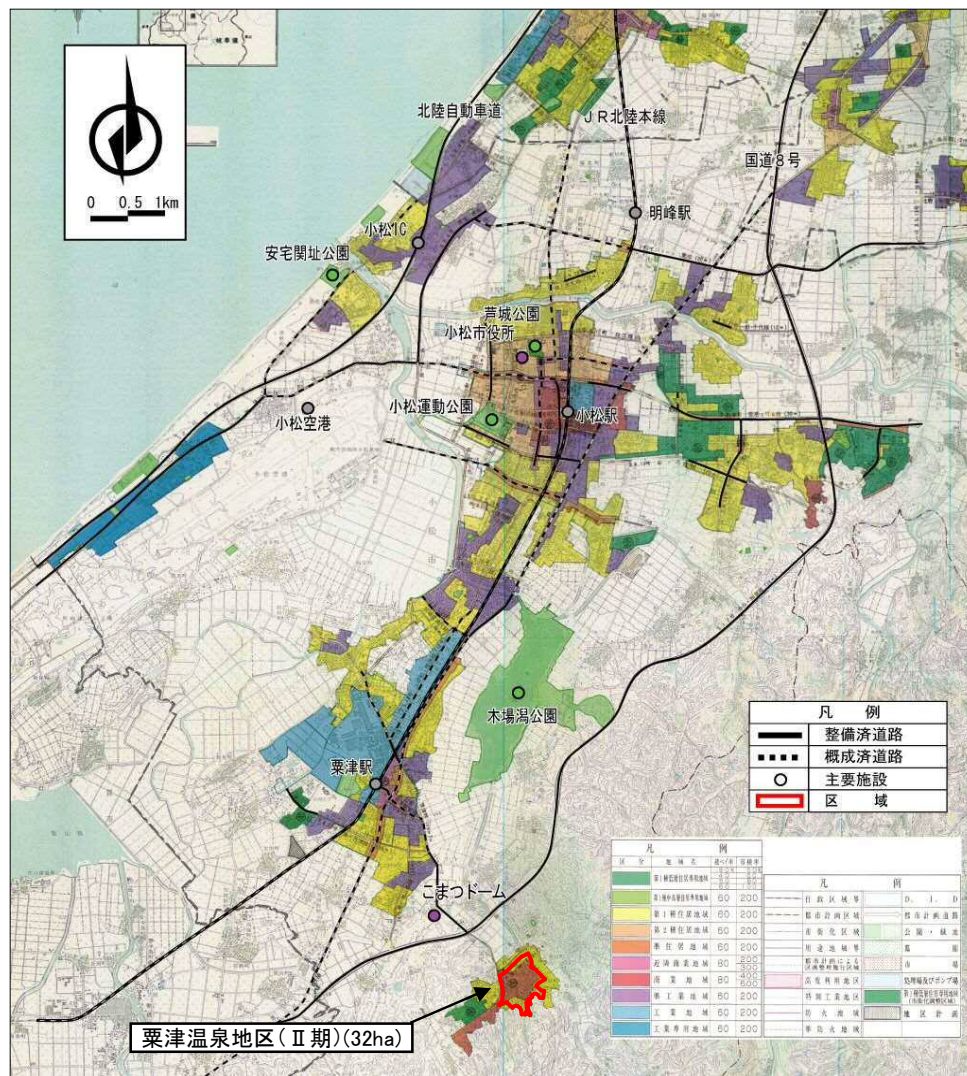
あわづおんせんちく
栗津温泉地区(Ⅱ期)

面積

32.0 ha

区域

小松市栗津町、井口町、白山田町、戸津町、西原町の一部



栗津温泉地区(Ⅱ期)(32ha)